

農林水産航空事業について

農林水産業において有人ヘリコプターや無人ヘリコプターを利用して行う農薬散布等の作業(農林水産航空事業)は、水稻、畑作、果樹、森林等の病虫害防除のほか、播種、施肥、森林管理の諸作業、各種調査等、農林水産業の各分野において実施されており、農作業の効率化及び低コスト化に寄与しています。

農林水産省では、農林水産航空事業が安全かつ適正に実施されるよう、安全対策や実施基準等を定め、都道府県等の関係機関と連携して指導を行っています。

病虫害防除について

日本は温暖で多雨・多湿な気象条件にあるため、病虫害が発生しやすい環境にあります。

このため、食料の安定生産のためには適期の病虫害防除が必要です。

近年の農業従事者の減少・高齢化等を背景に、より省力的で効果的な病虫害防除が求められています。

病虫害防除の実施にあたっては、関係法令を遵守し、周辺環境や地域の状況に配慮した安全対策を徹底することが必要です。



水稻の重要病虫害であるいもち病

農林水産航空事業の特徴

農林水産航空事業は、広域一斉防除により、労働力の軽減、病虫害防除コストの低減等が可能であり、省力的で効果的な病虫害防除技術の一つとなっています。

安全対策の徹底

農林水産航空事業の実施にあたっては、周辺住民等への安全対策や農薬飛散低減対策等の徹底が必要です。

農林水産省では、農林水産航空事業が安全かつ適正に実施されるよう、実施する際の安全対策や実施基準等を定め、都道府県等の関係機関と連携して指導を行っています。

有人ヘリコプター

効果

病害虫防除作業の労働力軽減を図ることが可能

単位面積当たりの作業料金が地上防除に比べて安価であり、病害虫防除コスト低減の効果

広域一斉防除が可能であるため、急激にまん延するいもち病等、地域全体で発生する病害虫の効率的防除が可能

平地の水田単作地帯など、広域な防除面積が確保できる場合に特に効果を発揮



有人ヘリコプターによる防除

安全対策

通知等

- ・農林水産航空事業の実施について
(平成13年10月25日付け13生産第4543号農林水産事務次官依命通知)
- ・農林水産航空事業実施ガイドライン
(平成16年4月20日付け16消安第484号消費・安全局長通知)

安全対策の例

周辺住民、周辺の作業環境に留意した実施計画の策定

学校・病院等の公共施設、周辺住民等に対する実施計画の事前周知の徹底

風速・風向等を考慮した、適切な条件下での実施

実施区域への立入防止対策、農薬飛散低減対策の徹底

無人ヘリコプター

効果

有人ヘリコプターと同様に、労働力の軽減、病害虫防除コストの低減が図れるとともに、地域全体で発生する病害虫の効率的防除が可能

機動性が高くきめ細かな作業が可能で、小規模面積での利用も容易

機体が小型で軽量なため移動・運搬が容易

低空飛行(3～4m)によって薬剤を散布するため、薬剤の飛散など周辺への影響をコントロールしやすい



無人ヘリコプターによる防除

安全対策

通知等

・無人ヘリコプター利用技術指導指針
(平成3年4月22日付け3農蚕第1974号農蚕園芸局長通知)

安全対策の例

周辺住民、周辺の作業環境に留意した実施計画の策定

学校・病院等の公共施設、周辺住民等に対する実施計画の事前周知の徹底

風速・風向等を考慮した、適切な条件下での実施

実施区域への立入防止対策、農薬飛散低減対策の徹底

機体等の保管管理の徹底